

【別紙】

絶縁抵抗値測定方法

絶縁抵抗値を測定する際は、必ずこの解説の内容を守って下さい。

不要な回路にメガリングすると、機器を破損する恐れがあります。

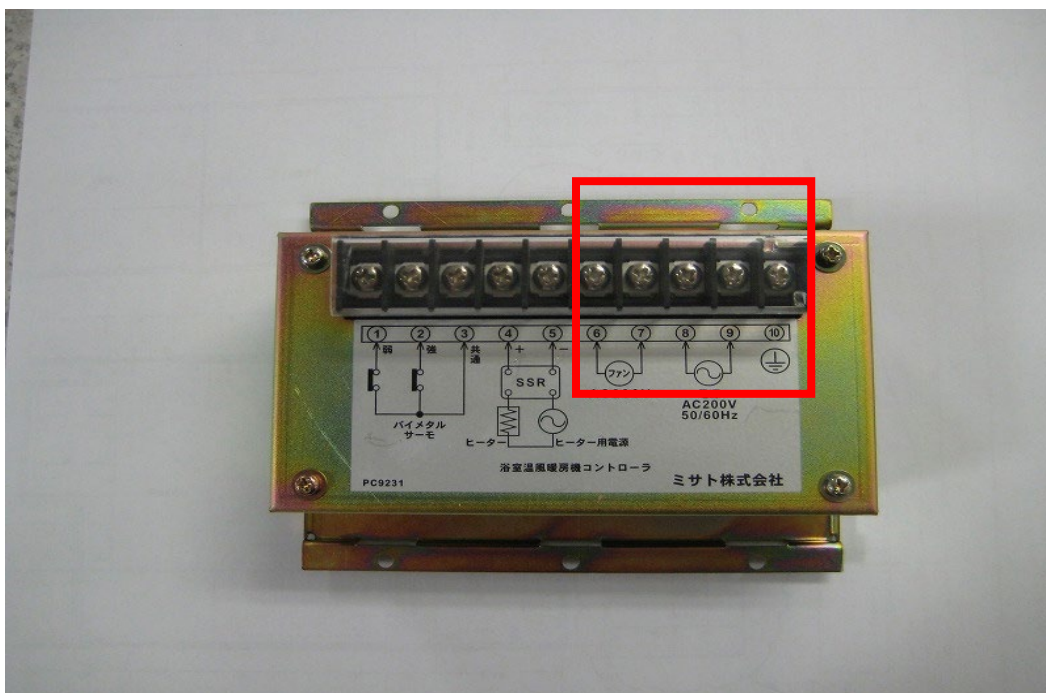
1. コントローラー制御の場合

取り付けられているコントローラーを外し、長面の端子カバーを外して下さい。

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 番の配線を端子台から浮かせてから、配線とアース線とで絶縁測定値測定して下さい。(500V 100M Ω 以上を確認して下さい。)

絶縁抵抗値の測定が出来る箇所は、⑥⑦⑧⑨⑩番の配線のみです。

それ以外の配線では、絶対に測定しないで下さい。



コントローラー裏面の端子台

2. 制御盤制御の場合

建物完成図書内の制御盤図面で確認し、セラミックヒーター内部にファン及びヒーター制御盤に接続されている箇所を特定して下さい。

絶縁抵抗値は、ファンとヒーターのみで測定出来ます。

それ以外では、測定しないで下さい。**注意して下さい。**